

# 平成30年度（2018年度） 事業報告書

法人の名称 NPO法人かながわ311ネットワーク

## 1 事業の成果

### (1)特定非営利活動に係る事業

#### ①災害復興支援事業

2018年7月豪雨で被災した、岡山県倉敷市真備町に向けて、8月から9月にかけて、6台（241人）のボランティアバスを運行。その後も現地での物資要請などがある場合、広報協力を継続中。

岡山へのボランティアバスは、NPO法人かながわ311ネットワーク主催、神奈川災害ボランティアバスチーム、かながわ福島応援プロジェクト（kfop）の協力で、「かながわ“平成30年7月豪雨”ボランティア活動支援プロジェクト（以下支援プロジェクト）\*1」の枠組みで実行し、神奈川県からは記者発表などの広報協力を得た。2019年2月に報告会を行い、プロジェクトを終了した。

2018年度から、横浜市災害ボランティアネットワーク会議に運営委員として参加。2016年の熊本地震の頃から検討を始めた、神奈川県における災害に備えた平時からの広域連携のあり方についての検討を本格化するべく、中間支援団体や県とも話し合いを継続中。

\*1 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/saigai/7gatugouproject.html>

#### ②災害被災地との観光交流支援事業

4月にはかながわ県民センター2階ホールにて「槌音」「ちかくてとおい」の上映会を開催。1月は「東日本大震災、障害者施設で起こったこと」という講演タイトルで、宮城県石巻市の社会福祉法人石巻祥心会サンネットなごみ管理者の鈴木徳和氏よりお話を伺った。

また、「まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～」の上映会開催の際には広報、上映日の会場設営・受付、トークセッションに協力した。

被災地支援からつながったご縁を大切にしていくとともに、現状を学ぶ場として多くの人たちに関心をもっていただくことができた。

### ③災害教育・防災教育事業

学校防災教育事業、地域防災事業共に、順調に事業が拡大した。

#### <1>学校防災教育事業

公立学校からの依頼は小中学校が主だったが、今年度は養護学校・特別支援学校からの問い合わせや依頼が増加した。また昨年度からのつながりで、神奈川県教育委員会から職員研修を受託し、より多くの先生に向けて研修をすることができた。

防災教育ファシリテーター養成講座は、〈初級編第5期〉は横浜、〈初級編第6期〉は小田原で開催し、県西地区で初開催となった。〈上級編第3期〉を横浜で開催し、のべ35人のファシリテーターを育成した。

\* 神奈川県の特徴と学校事情を理解しているとともに、防災の知識をあわせ持つ人材を防災教育ファシリテーターと位置づけている。

その他、防災教材や訓練に関する相談が増加した。

#### <2>地域防災事業

2017年度のよこはま夢ファンド組織基盤強化助成金を活用して作成した防災啓発リーフレットの配布を通じた住民防災啓発活動を実施。地域自治会等との関係強化と、地域防災への取組を強化した。

マンション防災事業では、横浜市市民協働事業提案ブラッシュアップ助成金を活用し、横浜市危機管理課及び鶴見、戸塚、神奈川各区との連携を強化し、コミカレ講座も含め、マンション防災講座の事業化を推進した。

### ④災害情報活用事業

災害復興事業、防災教育事業の下支えとしての活動を行った。

前年度からの継続団体に引き続き研修を行った。

かながわ災害情報連絡会に団体会員として参加し、DITS（Twitterを利用した災害情報共有システム）の普及啓発を行った。

### ⑤災害被災地の産業復興支援事業

今年度は、各イベントの中での物販販売として展開した。

## (2)その他の事業

なし

## 2 事業内容

### (1)特定非営利活動に係る事業

#### ①災害復興支援事業

総収入 435.2万円 総支出 434.9万円 収支 +0.3万円

#### ア) 西日本豪雨災害支援活動

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
7月中旬 支援元、連携団体と協議 7月25日 第1回支援プロジェクト会議 7月26日～27日 岡山県をターゲットに下見（2名） 災害支援ネットワークおかやま連絡会議に参加 支援先を倉敷市に決定 7月29日～研修会（全8回）ボラバスチームが開催 8月3日～9月16日 ボラバス6便運行（241名参加） 最終便に、県サポート課職員1名参加 9月5日 JVOAD支援P報告会参加 9月13日～9月16日 現地支援（1名） 9月26日 支援プロジェクト報告会議 （広域連携の必要性を議論） 2月2日 西日本豪雨災害支援報告会主催 （県、社協、共募も参加、発言） 2月6日 県主催西日本豪雨災害支援報告会に参加 （活動報告石田） 3月5日 JVOAD支援P報告会参加	岡山県倉敷市 真備町の被災 者数百名	スタッフ4 名+運営ボ ランティア 20名+ボラ バス参加者 延べ241名

#### イ) 広域連携のための諸活動

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
横浜市域での動き 2018年6月～横浜災害ボランティアネットワーク会議に加盟 運営委員に就任（年間9回会議出席） 7月4日 県民センター所長、副所長、サポート課課長他に JVOAD全国会議を受け、広域連携の必要性について説 明 9月26日 市民セクターよこはまと、災害時のVCの体制について 意見交換、継続中 1月23日 スキルアップ研修会に岡山NPOセンター石原氏を招聘  神奈川県域の動き 6月12-13日JVOAD全国会議参加 6月JVOADでの動向を県民センター所長、サポート課課長他に 報告	横浜市民          かながわ県民	4人

7月支援プロジェクトの動きの中で、徐々に広域連携の意味、価値が浸透し始める。 2月2日 西日本豪雨災害支援報告会を、広域連携への第一歩として位置づける、との見解で、県民センターと合意 3月26日 県民センター所長、サポート課課長他と広域連携の今後について意見交換		
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

ウ) スキルアップ研修

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
DMTCモニタートレーニング*1に参加 12月19日～21日 石田 3月13日～15日 石田、谷本、伊藤 *1 東京大学の災害対策トレーニングセンターが企画するトレーニングにモニター参加。センターの趣旨は、・体系的な災害対策の知識を活かし、実際の災害時に行動できる人材を育成し、・災害対策に関する知識と実技を"学び続ける"環境を提供すること。	当団体会員	3人

②災害被災地との観光交流支援事業

総収入 28.1万円 総支出 24.0万円 収支 +4.1万円

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
1. 4月14日（土）映画会開催 「槌音」「ちかくてとおい」をかながわ県民センター2階ホールにて上映。サポートセンター協力事業。	106人	6人
2. 1月26日（土）講演会開催 「東日本大震災、障害者施設で起こったこと」 講師：宮城県石巻市の社会福祉法人石巻祥心会サンネットなごみ管理者の鈴木徳和氏。泰生ポーチ フロントで開催。 協賛：認定NPO法人ゆめ風基金	40人	4人
3. 「まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～」 11月6日～10日、泰生ポーチフロントにて開催 主催：映画「まだ見ぬまちへ」横浜上映の会 協力：311ネットワーク（広報、上映日の会場設営・受付協力、トークセッションに協力した。）		

③災害教育・防災教育事業

③-1 学校防災教育事業

総収入 278.3万円 総支出 268.5万円 収支 +9.8万円

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<p>1. 学校等での防災教育授業や研修の実施 23件（幼稚園1、小学校6、中学校9、高校2、特別支援学校1、他4） 神奈川県災害対策課から、教職員向け研修を受託</p> <p>1-B. 相談案件 8件</p>	<p>神奈川県内の小中学生・教員 3200人</p> <p>9人</p>	<p>のべ130人</p> <p>のべ8人</p>
<p>2. 防災教育ファシリテーター養成講座</p> <p>&lt;1&gt;初級編第5期 全4回@かながわ県民センター、横浜市民防災センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 防災教育体験その1 DIG(災害想像ゲーム)</li> <li>・第2回 地域防災計画&amp;学校防災計画(座学)</li> <li>・第3回 防災教育体験その2 逃げ地図</li> <li>・第4回 防災教育体験その3 HUG(避難所運営ゲーム)</li> </ul> <p>&lt;2&gt;初級編第6期 全4回@小田原市民活動センター 内容は第5期と同じ</p>	<p>防災教育に関心のある市民 12人</p> <p>16人</p>	<p>のべ20人</p> <p>のべ20人</p>
<p>&lt;3&gt;上級編第3期 全4回@かながわ県民センターほか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 かながわ版防災教育プログラム</li> <li>・第2回 防災教材指導法その1 DIG(災害想像ゲーム)</li> <li>・第3回 防災教材指導法その2 逃げ地図、鎌倉まち歩き</li> <li>・第4回 防災教材指導法その3 HUG(避難所運営ゲーム)</li> </ul> <p>&lt;4&gt;ファシリテーターの実践研修（講座・講演等） 講座等、ファシリテーターとしての実践研修の場として活用した。 神奈川県内の小中高校、市民団体 計31件。</p>	<p>16人</p> <p>3300人</p>	<p>のべ20人</p> <p>のべ135人</p>

<p>3. 防災教育フォーラム 2月23日 パナソニックリビング ショールーム 横浜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校等での実践事例発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市立鶴見小学校</li> <li>・横浜市立桂小学校</li> <li>・座間市立西中学校</li> <li>・神奈川県立相模原養護学校</li> <li>・認定こども園大津幼稚園</li> <li>・神奈川県災害対策課</li> </ul> </li> <li>◆講演 兵庫県広域防災センター 防災教育専門員 田中健一氏</li> <li>◆トークセッション 小松野麻実さん（岩手県釜石市出身の大学生）</li> </ul>	<p>神奈川県内の学校関係者や防災団体 20人</p>	<p>10人</p>
<p>4. かながわの防災教育ポータルサイト 「かながわ子ども防災情報ステーション」の運営</p>	<p>神奈川県内の学校関係者や地域団体</p>	<p>2人</p>

### ③-2 地域防災事業

総収入 156.1万円 総支出 135.3万円 収支 +20.7万円

かながわの地域防災力を高めるための活動の内、学校防災教育事業以外のもの

#### ア) 地域防災力強化のための自治会、住民の啓発活動

前年度受託したよこはま夢ファンド組織基盤強化助成金を活用して作成した防災啓発リーフレット「その時3日間を生き延びる」を中心に、地域住民への防災啓発を実施、増刷含め11000部を無償配布。

横浜市危機管理課とも意見交換を行い、有償1部20円の改訂版を1月に作成。年度内に1400部、既に4000部を受注し、増刷準備に取りかかっている。

また、自治会町内会向け研修や、地域防災拠点運営委員会等との意見交換を通じ、地域防災力強化に貢献できた。

障がい者施設向け研修も、昨年引き続き受注。観光交流事業で行った石巻祥心会鈴木氏の講演も含め、障がい者防災についての知見を高めることができた。

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<p>1. 地域防災事業構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 横浜市危機管理課、各区意見交換</li> <li>* 防災リーフレット改訂に関するヒアリング（危機管理課）</li> <li>* 地域イベント参加 1回のみ 湊フェスタ</li> <li>* 神奈川県民センター1Fロビーでの支援室合同防災啓発活動参加 9月度は各区市の防災マップを集めて展示配布 3月度は防災啓発リーフ及び物品販売</li> </ul>	<p>当団体会員 横浜市民</p>	<p>6人</p>

<p>1B 防災啓発リーフレット 合計12400部を配布 改訂3版より有料化 @20- 5000部作成</p> <p>前年末作成 5000部 増刷 3000部 印刷費 3.2万円 3000部 印刷費 3.5万円 改訂版作成 作成費 作成費 5.6万円 5000部 印刷費 5.0万円 期中配布 1400部 期末残数 3600部 在庫額 7.7万円</p>	<p>横浜市及び神奈川 民</p> <p>配布数 12400部</p>	<p>8人</p>
<p>1D 地域防災活動 * 地域防災拠点運営訓練見学（松本中学校） 神奈川区区民協議会防災部会参加 * 地域自治会研修 1回（西区第二地区） 収入 1.2万円</p>	<p>一般市民</p>	<p>4人</p>
<p>1E. 施設向け研修 * 障がい者施設防災 研修 1回（しらはた）収入 3.0万円 勉強会講師（K-NET!）収入 1.0万円 ゆめ風基金総会出席 （石巻祥心会講演会 観光交流事業） * 地区センター等講座受託 6回 収入 16.4万円</p>	<p>しらはた他 30名</p> <p>地域住民 150名</p>	<p>4人</p>

イ) マンション防災啓発活動

昨年のコミカレ講座での体験をもとに、マンション防災事業を構築。

横浜市市民協働事業提案ブラッシュアップ助成金を活用し、横浜市危機管理課と連携したマンション防災力強化事業の可能性を検討。戸塚区、鶴見区からの講座受託や8回のコミカレ講座を通じ、講座依頼やマニュアル作成支援の受注実績を積み、次年度拡大の目途が立った。

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
<p>2 マンション防災講座 * コミカレ講座 無料講座3回 60名 ワークショップ8回 延べ160名 収入 16万円 支出 17万円</p> <p>* 受託講座 戸塚区入門講座 80名 収入 4万円 鶴見区研修 25名 収入 6万円 一般3件（鶴見、野庭、ラムーナ戸塚） 収入 12.8万円</p>	<p>マンション管理組合役員、自治会関係者、行政他 のべ220名</p> <p>講座、研修受 講者155名</p>	<p>6名</p> <p>2名</p>

2B 市民協働事業提案アイデアブラッシュアップ助成金 助成金額 30万円 先進自治体訪問 6市区 危機管理課、各区打合せ 4回 マンション防災マニュアル作成支援 トライアル 4団体実施 収入 9万円 (鶴見、松ヶ丘、蒔田、戸塚) 無料入門講座(市民局) 40名 *マンション居住者用リーフ作成受託 ロイヤルタワー横濱鶴見 収入 5万円	横浜市内マンション管理組合、自治会及び住民  500名	6名
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------	----

#### ④災害情報活用事業

総収入 6.4万円 総支出 6.3万円 収支 +0.1万円

ア) 災害情報ボランティアスキルアップ講座事業  
前年度からの引き継ぎ案件の講座を実施

団体向けFacebook講座(出張講座)

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
4月17日 NPO法人女性の家サーラースタッフ研修 Facebook中級編	6人	1人

イ) かながわ災害情報連絡会を通じてICTを防災に活かす普及活動  
DITS(ツイッタを利用した情報発信システム)の普及のための講演活動などを、かながわ災害情報連絡会を通して行った。

情報収集、連携のために各種会議に出席

出席した会議

日時 内容	受益対象者数	従事者人員
4月19日 防災科研第2回 官民合同会議「災害初動期に都道府県が 情報システムに求める機能とは？」		1人
6月5日「防災・減災における情報化－先端的な技術はどのように 使われるのか－」		
9月5日セールスフォース研修		



⑤産業復興支援事業

総収入 37.4万円 総支出 33.6万円 収支 +3.8万円

日時内容	受益対象者数	従事者人員
東北物産の販売会を各種イベントにて実施 10月初旬 ボランティアフェスタ中止分を支援室で販売 1月26日 石巻祥心会講演会で販売 3月8日～11日 3.11支援室イベントとしてかながわ県民センター 1 Fロビーで販売会 売上 25万円 利益3.8万円	被災地での生産者多数 神奈川県を中心とした首都圏在住者約 350人	10人

(2)その他の事業

なし